

希 望 条 件

- 一 今後市学務委員ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ制当ヲ各区平等ナラシメラレタキコト。
- 一 学制統一後ハ尋常小学校ノ授業料ヲ徴收セザルコト。
- 一 学制統一後ハ優秀善良ナル職員ヲ各区ニ平等ニ配置セラレタキコト。
- 一 学制廢止ト共ニ市教育部ノ拡大改造ヲ計ラレタキコト。

かくてわれわれの主張し來つた学制統一問題は、昭和二年度から実施の運びとなり、大正十四年九月十五日から昭和二年三月三十一日の間、すなわち、一年と七か月をもつて西成区會議員としての職責は解除されたのであります。嗚呼、僅かな期間ではありましたが、私どもが約束致しました使命は全うすることが出来たのであります。

私は本年度古稀の齡を算するのであります。二十七年前は四十三歳に当ります。春秋に富むという時代であり、感慨無量のものであります。当時を追憶して何等か御参考になれば幸甚と存じます。

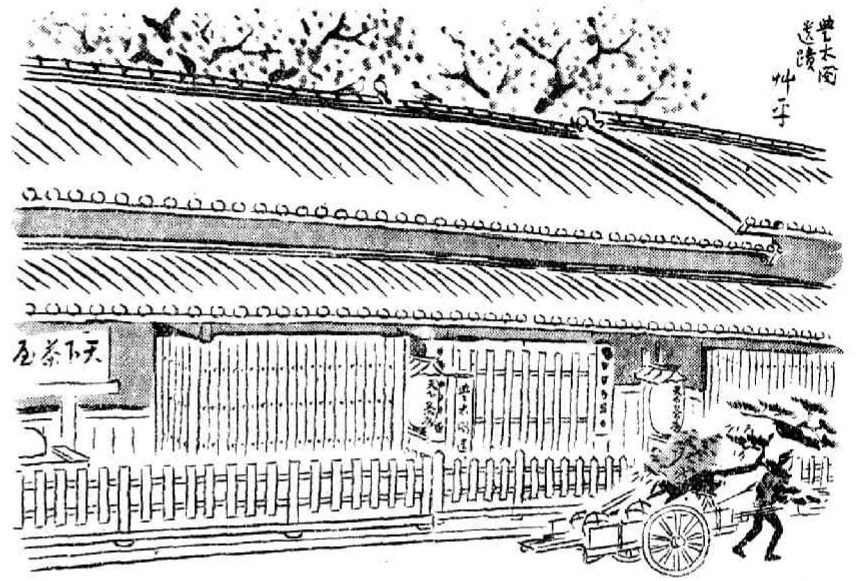
第十二編 名 所 舊 跡

一 天 神 の 森

一名紹鷗の森は、天正の茶匠武野紹鷗が鬱蒼とした森林に湧く泉水を愛し、林間に茶室を造り風月を友として幽棲した跡で、その西に建られた紹鷗杜の碑はこれを表したものとされている。今は菅原道真を祭神とする天満宮があり、老樹鬱蒼として社頭を蔽い今なお昔の儂を残している。

二 天 下 茶 屋

天下茶屋の由来は、豊臣秀吉が堺政所に往來したとき、紹鷗の遺跡で名高い天神の森で茶を汲んだことに始まり、そのときの休憩所を太閤殿下茶屋と呼んだのであるが、世人がこれを天下茶屋と称するに至つたので、この名が生れたと伝えられている。戦災前に天下茶屋と称するものに二ヶ所があつた。その一つは明治元年四月、明治天皇の休憩所に充てられた壺天閣のある所と、今一つは秀吉の茶屋と称する小亭のある所で、傍の古井を「恵の水の井戸」と称え、秀吉の点茶の水であつたと伝えていたが、何れも戦災にあつて今はない。



また、この地で慶長十四年備前の人林源次郎が父・兄の怨敵當麻三郎衛門を討ち本意を遂げたことは、後世天下茶屋の仇討として人口に膾炙されたものである。

源次郎の父玄蕃は城主宇喜多秀家に主家の安危を諫めたが、奸臣長船紀伊守の忌むところとなり、長船は當麻三郎衛門をして夜窺かに玄蕃の帰途を要して殺害せしめた。長船の悪計は露れて切腹を命ぜられたが、三郎衛門は出奔した。玄蕃に重三郎・源次郎の二子あり、父の仇を報ぜんがため、母と下僕二人をつれて仇をもとめて国を出たが、母は病んで歿し、兄もまた足を病み、兄弟は京都から大阪に下り非人となつていたが、兄は下僕の裏切りから三郎衛門のために殺害された。源次郎は嘗つて母の情により

助命せられたもと同藩の士で伏見の人形師幸右衛門にたよつた。幸右衛門は窃かに木村重成に訴えた。重成これを憫れみ、たまたま淀君の住吉神社参拝の挙あり、大野治長これに従い、その臣となつていた三郎衛門もこれに倍していたので、その知らせを受けた源次郎は幸右衛門とともにその帰路を要して天下茶屋の地に父・兄の仇を報じたものであると伝えられている。

なお附近の安養寺には関取千両幟で名高い「力士猪名川」や近松の名戯曲「心中天の網島」に唄われた紙屋治兵衛の妻「さん」の墓があつたが、何れも戦災で失なつたのは惜しまれている。

三 千 本 松

木津川は淀川河口の一つで、南大阪の海上よりの入口として、大阪市の発展に貢献している。往時は東に津守新田拓け、遠く生駒の連山を望み景勝の地であつた。天保三年川口大濠のとき八百七十余間の堤を築いて松を植え列ね、石波止の千本松と称し、世人がここで遊んだという。今では西成区に連る沿岸は大小の造船所が軒をならべ、南大阪の工場地帯と化した。

四 十 三 間 堀 川

十三間堀川も久しい名所の一つであつた。今はわずかにその跡をとどめるに過ぎない泥溝と化

しているが、かつては新堀ともいわれたこともあり、元祿十一年河村瑞軒の設計になつたものと伝えられ、長さ四十四町・幅十三間、木津川の水を引いて堺の北で海に注がしめた。南大阪における唯一の運河として、当時治水と運輸交通に大きな役目を果し、南大阪の発展に貢献したものである。

清冽な水流に多数の楼船を浮べて、住吉詣や汐干狩に幾多の遊客を運んだ昔を想像するときうたた今昔の感に堪えない。

五 萩の茶屋

もともと南北両店に分れ、本店は北のほうで広田神社の前にあつたということである。秋になると園内の胡枝花が乱れ咲き、堺への往還や住吉詣の遊客がこの茶屋に立ち寄つて休憩し眺を恣にしたと伝う。今はその俤はなくわずかに地名にその名をとどめるのみである。

六 飛田墓趾

飛田は齋田または鴉田とも記されている。この地は今でこそ南大阪唯一の歓楽地帯として一大不夜城の觀を呈しているが、五六十年前までは草茫茫たる荒地であつた。それもその筈、もとは

卵塔累々たる間に刑場さえ置かれたところである。

明治初年までは死刑囚が馬の脊に飛田の仕置場に送られ、放火犯は火焙り・強盜殺人は磔・強盜は打首とそれぞれ罪の種類と軽重に応じて刑を異にしたもので、処刑者の首は晒され、死体はこの地に埋められた。これが無縁墓となり明治初年まで大阪の四大墓地として知られていたのである。

桑田変海のとえにもれず、昔年凄惨であつた土地も、面目を一変して繁華街と化した。今は昔を物語るかの如く霞町にいたる道路の西側に、一体の太子地藏尊と一基の石碑が残されているのみである。

七 今宮と小西来山

今宮といえは戎神社と小西来山の名が頭に浮ぶ。来山は元祿時代における大阪の代表的俳人の一人であつた。晩年堪々翁と号し今宮の地に一屋を建てて、これを十万堂と称した。

来山の句集「今宮草」は享保十九年秋に、更に「続今宮草」は天明三年に刊行せられた。他に有名な「女人形記」がある。

時雨るゝやしくれぬ中の一心寺
今宮は虫ところなり豊なり
冬見れば松にひきそう茶白山
涼しさに四つ橋を四つ渡りけり

来山

八 西成区と海

西成区の大半は往時海中であつたことは疑いない。現在残っている地名に徴しても海に深い因縁のあることがよくわかる。往古この地の海岸一帯が住の江または住吉の浦の總称のもとにあつたらしく、古文書にも敷津の浦・磯城津・津守の浦・勝間の浦・名古の浜・浜田の浦等の呼称が残っている。

何れにせよ現在の日本橋以南住吉にいたるまでの海浜の名称で、平安朝以後徳川時代まで、難波乙女が裳を濡らし、貝を拾い、葦の生えるあたり鶴が群なき、塩焼く蟹の煙が見ゆる白砂青松の一勝区であつたことは想像される。

住吉の名呉の浜辺に駒なめて

玉ひろひしく露わすらへす

万葉 柿本人麿

なこの江に妻喚ひ交し鳴く田鶴の

声うらかなし夜や更けぬる

玉葉 宗尊親王

住吉の浜田の早苗あいにとて

今日を五月と急きとるなり

万葉 藤原為家

大船の津守の浦に告んとは

まさしに知てわかふたりぬし

万葉 大伴皇子

月出て今こそかへれ名呉の江に

夕へ忘るゝ天の釣舟

続古今 藤原光俊

なこの海のかすみのまよりなかむれは

入り日をあらふおきつしら波

新古今 藤原実定

けさ見れば雪も津守の浦なれや

浜松枝の波につくまで

続古今 慈 鎮

夕月夜しほ満ち来らし難波江の

あしのわか葉をこゆるしら波

新古今 藤原秀能

しかるに時代の推移とともに海底が次第に露出して一面の葭洲を形成し、やがて開拓せられて新田が続々生れた。

徳川末期の戯作者蜀山人の狂歌に

住吉に新田ふへて年々に

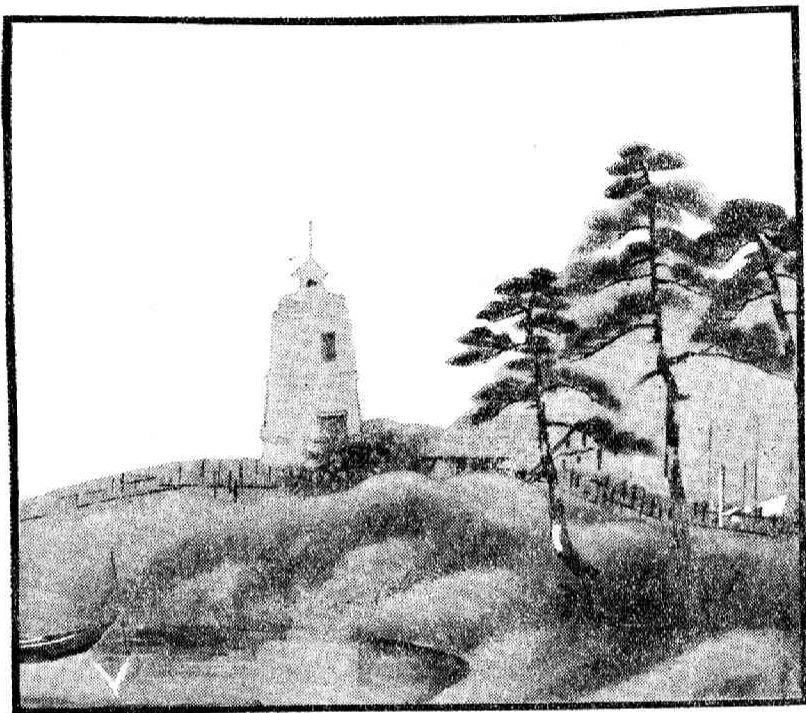
あとすさりする岸の姫松

と歌つたのは万葉集の

我見ても久しくなりぬ住吉の

岸の姫松いくよへぬらん

をもぢつたもので、この地の変遷の様子をうがつて余りあるものというべしである。



千本松由来

圓尾華甫

風薫る千本松や船子唄

昔汐千狩に近辺から老若男女が春の陽和に千本松の堤から燈台の下へ平和なひねもすを慕ひ、千本松堤には津守神社あたりから人足が絶えなかつた名所である。今の千本通には西成区役所があり、この川尻は造船の音や工場の煙で覆われ、木津川をゆききする大船・小船にもうたた今昔の感極まる。

(絵・文)

官公署關係各種團體名簿

目次 (順序不同 敬称略)

一 議 員……………一

二 選挙管理委員会……………二

三 日赤奉仕団・災害救助隊……………二

四 民生委員……………二五

五 募金委員会……………三三

六 社会福祉協議会……………三三

七 P・T・A連絡協議会……………三五

八 成人教育講座運営委員会……………三六

九 体育厚生協会……………三六

一〇 土地区割整理委員会……………三六

一一 農地委員会……………三九

一二 農業調整委員会……………三九

一三 農業協同組合……………三〇

一四 新生活婦人会……………三〇

一五 少年保護司会……………三二

一六 成人保護司会……………三三

一七 保護観察協会……………三五

一八 調停委員……………三六

一九 結婚斡旋委員……………三六

二〇 西成区民クラブ……………三六

二一 防潮堤完成促進同盟会……………三六

二二 西成区主要食糧配給連絡協議会……………四〇

二三 防犯委員会……………四〇

二四 青少年補導委員会……………四一

二五 防火協力会……………四一

二六 納税協会……………四一

二七 商業……………四二

二八 工業……………四五

- 二九 衛生・厚生・其他……………五
- 三〇 官公署・事業所……………六
- 三一 学校・幼稚園……………七
- 三二 施設……………七

議 員

府 会 議 員

居川喜太郎 梅通六丁目一 天下 三八三一
 土井松三 千本通四丁目二 天下 二七九八

市 会 議 員

土井晴美 北神合町二一 天下 二一六二
 吉宗貞之 津守町東五丁目一四 新町 四〇〇〇
 田中正男 旭南通六丁目八 新町 一四四九
 辻竹松 千本通七丁目七 天下 四〇六七
 柳本松太郎 山王町二丁目四八
 樋上栄次郎 柳通一丁目一 天下 四三八八

沖繩人連盟西成支部

梅通 七丁目四

支部長 山川 嘉信

梅南通八丁目
一〇

海外引揚者大阪府厚生連盟西成支部

支部長 今村 為一

山王町二丁目
二八

西成区遺族厚生会

天下茶屋二丁目一七

会 長 小松 半次郎

天下茶屋一丁
目一七

副会 長 加藤 末吉

千本通三丁目
二三

中尾 惟一

桜通四丁目一
七
天下三〇二四

會計(幹事) 青谷 了甫

玉出本通五丁
目一二八

山田 豊治

梅南通一丁目
二

上羽 宅次

鶴見橋通八丁
目二

岸田 栄太郎

鶴見橋北通一
丁目六

萩之茶屋福社会

東田町 七三

会 長 川村 喜一

今池町三四

副会 長 河合 福由

東入船町三六

岩田 富雄

長橋通一丁目
一〇

會計部 長 大津寄 共助

東田町三六

文化部 長 萩原 直

東入船町二二

児童 課 藤川 五百里

東田町三三

厚生部 長 武山 孝太郎

海道町三八

婦人部 長 西光 九つ子

東田町三七

監 事 柳川 清次郎

鶴見橋北通一
丁目四〇

上田 保次郎

東入船町三六

大阪府軟式野球連盟西成支部

海道町 三八

支部 長 武山 孝太郎

海道町三八

副支部 長 鈴木 辰夫

姫松通二丁目
七

下村 貞裕

津守町東八丁
目一三七

西成区地主会

西成区役所内

会 長 水野 八五郎

住吉区墨江西
七丁目三

副会 長 円尾 正太郎

住吉二五八八
三三
姫松通三丁目
天下三〇七七

川端 豊春

鶴見橋通一丁
目一

會計幹事 井上 庄太郎

今池町四一

土肥 喜右衛門

玉出本通一丁
目五八

南大阪新聞社

南神合町三三 天下四二二二

主 幹 安井 久晏

南神合町三三

ニューズ街の聲新聞社

花園町二五

主 幹 巽 秀之進

花園町二五

西成新聞社

山王町三丁目四

主 幹 大内 薫

山王町三丁目
四

阪南日日新聞社

東住吉区平野元町七丁目六 東住吉 五

社 長 柴田 嘉右衛門

東住吉区平野
元町七丁目六

千本時報

新聞通三丁目二六

主 幹 友永 信次郎

新聞通三丁目
二六

大阪区民新聞社

聖天下二丁目四四 天下三八三五

主 幹 富田 耕平

聖天下二丁目
四四

大阪華僑總會西成自治会

海道町 九 天山食堂内

幹事 長 郭 宗 佑

鶴見橋通六丁
目九 新町三一四三

官公署・事業所

西成区役所

千本通三丁目一五

下天
四三三・四三三
四三三・四三三
四三三・四三三

- 区长 長井口銀治
- 庶務課長 栗岡武雄
- 市民課長 井上三郎
- 稅務課長 (主稅課長) 橋口清高
- 徵收課長 岡田恒男
- 收入役 (會計課長) 家野貴雄
- 庶務係長 喜田弘明
- 調查係長 花輪全夫
- 學事係長 鳥羽正一
- 市民係長 松本正雄
- 戶籍係長 山田都一

- 市民稅係長 武田忠直
- 固定資産稅係長 植西猶雄
- 雜種稅係長 三浦長二
- 整理係長 増田幸治
- 徵收係長 岩見正一
- 副收入役 山本八十二
- 主事 六藤 薰太郎

大阪市教育委員會西成区事務局

西成区役所内

- 事務局長 井口銀治
- 事務局次長 栗岡武雄
- 學事係長 鳥羽正一

西成稅務署

千本通二丁目二八

天下四〇七一

- 署長 長泉 外吉

- 總務課長 古沢隆信
- 直稅課長 岩崎久次
- 間稅課長 中村勝夫
- 總務課次長 坂本美樹
- 總務係長 井上幸男
- 管理係長 田畑泰治
- 徵收係長 木崎正義
- 所得稅係長 竹下定邦
- 法人稅係長 野島正雄
- 養鹿稅係長 小林信夫
- 資料源泉係長 幡井良平
- 酒稅係長 宇藤正
- 消費稅係長 立脇登

- 所長 長矢寺新三郎
- 總務課長 砂正澄
- 普通徵稅課長 田村富藏
- 特別徵稅課長 田中康造
- 庶務係長 平井一男
- 徵收係長 松尾博一
- 調查係長 増田利治
- 第一係長 松延繁
- 第二係長 森本清孝
- 入場稅係長 藤井実範
- 遊興飲食稅係長 長山輝夫

西成警察署

海道町二一南
二八八

大阪府西成府稅事務所

住吉区万代西三丁目六

住吉 五〇〇〇五
六

- 署長 三谷久男
- 警部 田岡宗一

北河内郡裏屋川町
(警官住宅六七)

中田 千年 住吉区粉浜東之町五丁目二三

庶務係主任 石田 梅男 東住吉区山坂町三丁目三九

調査係主任 中村 武雄 阿倍野区昭和町三丁目一六

防犯係主任 池上 余三男 北河内郡寝屋川町(警官住宅九八号)

交通係主任 久保田 歳春 奈良市西木辻瓦町三五二

保安係主任 井上 幸治 松原通二丁目四八(市營住宅)

一部警邏係主任 森山 繁夫 泉佐野市貝田

副主任 松尾 進 津守町東七丁目(府營住宅三八号)

二部警邏係主任 柳川 善一 南河内郡野田村北野田二二〇九

副主任 青砥 正男 布施市森河内五五三

三部警邏係主任 三宅 貢 天下茶屋二丁目五 警友寮

副主任 脇坂 茂樹 阿倍野区阿倍野橋筋四丁目一五

搜查第一係主任 岩田 新吉 北河内郡寝屋川町(警官住宅一六)

副主任 古川 静馬 生野区林寺町二丁目九一

搜查第二係主任 松江 正夫 生野区中川町四丁目一三四

會計係主任 牧野 保 北河内郡寝屋川町(警官住宅一七)

警備係主任 尾島 俊夫 (一) (二) (三)

西成消防署

消防司令長 楠崎 重一 海道町一〇 南(五二四三〇)

消防司令 秋山 運平 中河内郡巽町大字大地六八八

消防司令補 宮定 竹三郎 旭区森小路町二丁目一

濱尾 令交 東淀川区国次町九八

和田 八郎 阿倍野区阪南町東二丁目一

西南部民生安定所

西成区役所内 天下(四四一三二)

所長 山本 忠 阿倍野区阿倍野筋三丁目七二

庶務係長 大谷 才吉 西今船町五

第一保長 武平 実 住吉区万代西四丁目四一

第二保長 谷口 豊一 浪速区久保吉町一 二四八

西成保健所

所長 岡部 一男 阿倍野区北田辺町三一〇

庶務係長 吉川 菊雄 中河内郡英田村字吉田一〇七九

衛生係長 鬼塚 一男 東住吉区山坂町五丁目五六

保健予防係長 岡部 一男 東住吉区北島町七ノ二

普及係長 南 保太郎 住吉区北島町七ノ二

今宮市民館

館長 長谷川 民次郎 布施市長榮寺一丁目四〇

東田町七三

阿倍野労働基準監督署

署長代理 杉岡 喜次郎 泉佐野市鶴原 泉佐野(呼)五〇五

署長 長速 水善三 大和高田市大和道三丁目三五 高田 二八九

阿倍野区天王寺町二六六〇ノ五 天(五五一一四)

西成消防署

西成郵便局

天下茶屋一丁目一〇

1000(局長室)・300(庶務會計課)

天下(1100(郵便課)・300(貯金課))

260(保険課)

局長 武並 哲二 東淀川区塚本町六丁目一

庶務會計長 石橋 虎雄 東住吉区湯里町五四四

郵便課長 奥田 龜之助 阿倍野区共立通二丁目八八

貯金課長 王子田 栄一郎 住吉区粉浜中之町二丁目一四

保險課長 池田 敏治 八尾市植松四

局長 井上 奈良藏 山王町一丁目 南 一〇七九

山王郵便局(特定局)

局長 井上 奈良藏 山王町一丁目 南 一〇七九

田端通郵便局 (特定局)
 局長 松平 寿一 田端通二丁目 天下四一四二

萩之茶屋郵便局 (〃)
 局長 大宮 憲信 西萩町六三 南 一二七九

津守郵便局 (〃)
 局長 向阪 政春 津守町東四丁目九一 新町 四四二

飛田郵便局 (〃)
 局長 鈴木 清 今池町五二

松通郵便局 (〃)
 局長 岡田 清三 松通二丁目一 天下二七四二

櫻通郵便局 (〃)
 局長 元 治 昇 桜通六丁目八 天下二一四二

津守新道郵便局 (〃)
 局長 平田 彌太郎 津守町東二丁目 新町 六四二

千本郵便局 (〃)
 局長 道田 二郎 千本通七丁目 天下二二四二

玉出郵便局 (〃)
 局長 高城 啓次郎 一 姫松通一丁目 天下四四四二

鶴見橋郵便局 (〃)
 局長 吉田 アヤ子 鶴見橋通五丁目二 新町 三四二

新開郵便局 (〃)
 局長 上 島 理 新開通二丁目 天下四七四二

天神森郵便局 (〃)
 局長 伊田 通太郎 天下茶屋三丁目九 天下四五四二

西成電報局
 營業運用長 川井 繁三郎 東住吉区田辺六 東之町七丁目 東住一八七三

天下茶屋電話局
 營業運用長 今川 小之助 布施市泰河内七六一 下 二四〇〇

施設長 小松 幸茂 堺市中田出井町一丁目一

大阪少年保護観察所
 北区若松町一五 堀川 五八〇

大阪成人保護観察所
 北区若松町一五 堀川 二〇四

所 長 関 毅

所 長 奥野 吉之丞 泉大津市千原二二〇

厚生係長 安井 米太郎 東住吉区駒川町七丁目五

監督係長 坂本 鎮夫 泉北郡北池田村字山深

紹介係長 鈴木 忠臣 住吉区東加賀屋町三ノ九 兼事務係長

中央児童相談所
 天王寺区生玉前町三八 天 六一六九

阿倍野公共職業安定所
 天王寺区下寺町四丁目三二 南 三五九〇

所 長 西村 庄治郎 中河内郡松原町字新堂七三ノ六

庶務課長 永野 正胤 住吉区御崎町一丁目一六五

職業課長 井上 八郎 住吉区帝塚山西四丁目二二

調査課長 前 元 宏 東住吉区中野町八六

失業保険課長 小野 治雄 布施市菱屋西二七三

西成労働出張所
 東 萩 町 南 八六二

所 長 龍見 幸郎 天王寺区生玉前町母子の街

西成寮
 松通七丁目六 天下三八〇〇

今宮市民病院
 梅通二丁目三 下 二九三〇

院 長 塚原 仲光 中河内郡南高安村大字恩智森小路六ノ二

事務長 松本 栄造 東住吉区北田辺町八五二

産婦人科 岸本正夫 梅南通一丁目 天下三二五九
 科内 長科 吉川進 神戸市須磨区 天神町五ノ三
 科小児 長科 田川悦郎 堺市浜寺昭和 町四丁五一八
 科外 長科 置塩顯 神戸市須磨区 千守町一ノ四
 科眼 長科 岩崎健児 豊中市大字北 刀根山一〇五

産児調節優生相談所

今宮市民病院内
 所 長 岸本正夫 梅南通一丁目 天下三二五九

西成優生結婚相談所

西成保健所内
 所 長 岡部一男 阿倍野区北田 辺町三一〇

水道局粉浜営業所

住吉区粉浜本町二丁目五
 所 長 井上隆司 西淀川区大和 田町四九
 業務主任 牧竹藏 堺市鳳南町四 丁四一五

料金主任 藤本凱紀 北河内郡寝屋 川町字黒原聖
 工事主任 江田源太郎 住吉区浜口中 二丁目一六
土木局 南工営所本所
 阿倍野区旭町一丁目四六 南 〔一四〇・二五五
 二五八・二五七

所 長 鳥取正雄 津守町東五丁 目四二
 庶務係長 千草伸一 天下茶屋三丁 目三二
 土木係長 吹田浩次郎 東住吉区田辺 東之町五丁目 一六

土木局 南工営所下水係

天王寺区悲田院町六七 王天 〔二三八四
 七一九九
 下水係長 田中四郎 東住吉区田辺 本町五丁目三 東住吉五〇一

土木局 南工営所玉出出張所

玉出新町通二丁目一二 下天 〔四七三一
 二八三八
 主任 山口湛平 天王寺区勝山 通一丁目三

土木局下水課 津守処理場

津守町西五丁目四二 新町 一六〇

場 長 松丸勲 吹田市大字垂 水一六八

清掃局 住吉清掃区事務所

住吉区粉浜東之町三丁目六四 住吉三八一四
 所 長 藤井元己 西区九条通三 丁目五六二
 西成 主任 松谷正一 住吉区千鉢町 八四

清掃局 津守出張所

津守町西五丁目三〇二 天下二二三三
 所 長 久徳竹雄 津守町西五丁 目三〇二

市立 屠場

津守町東六丁目四二 下天 〔四四二
 四二八
 四二八
 八七六
 場 長 田中郁太郎 富田林区西林 町五〇

市設 家畜市場

津守町東六丁目四二 天下四二八九
 場 長 西野宗次 南河内郡登美 丘町北野田四 四七三

市設 今宮質鋪

花園町三三
 主任 北村友二

学校・幼稚園

府立 今宮工業高等学校(通常課程)

西四条二丁目一南 二三

校 長 諸熊壯一 泉南郡榎井町 二〇一二

教 頭 早船庫之助 堺市浜寺諏訪 ノ森東三ノ三六

府立 今宮工業高等学校(定時制課程)

西四条二丁目一南 二三

校 長 諸熊壯一 泉南郡榎井町 二〇一二

主 事 又野重信 泉南郡榎井町

府立 今宮工業高等学校PTA

会 長 泉本五一 堺市永代町一 丁目九 堺 三一九一

副 会 長 森本利一 生野区猪飼野 東四丁目二六 東 一五〇九

会 計 芝野忍 阿倍野区阿倍 野筋五丁目三

書 記 辻みさを 浪速区貝柄町 一四七

学校医 織井邦朝 三三 松田町二丁目
 学校歯科医 勝屋明雄 七四 聖天下二丁目

金塚小学校

阿倍野区旭町三丁目八八 南 五九六

校 長 安松節三 東住吉区平野 西脇町二九
 教 頭 花崎一夫 南河内郡道明寺 村字沢田六五二

PTA会長 津国三次 山王町四丁目 一四

副会長 西浦涉 山王町三丁目 六二

会計 横島昌子 阿倍野区旭町 二丁目六二

学校医 金杉重信 山王町二丁目 四六

学校歯科医 藤本勇臣 阿倍野区旭町 三丁目

市立玉出幼稚園

姫松通二丁目一七 天下二〇四六

園 長 村上千代 住吉区西住之 江町二丁目四

主任教諭 志和アヤ 東淀川区淡路 新町一三三

PTA会長 寺田義一 玉出本通三丁目一〇 天下三五六八

副会長 高梨喜代 辰已通一丁目 三 天下三三一七

会計 岡本全男 玉出本通一丁目三七 天下二七四六

園 医 山口貢 玉出本通二丁目五四 天下四八三五

園 医 川崎雅菊 姫松通一丁目二五 天下四八三五

津守幼稚園

津守町西五丁目四八 新町二〇四

園 長 八田富夫 津守小学校

主任教諭 檜木蕙子 堺市浜寺諏訪ノ森東

PTA会長 久堀敏夫 津守町東四丁目八六

副会長 山奥はなえ 津守町東四丁目八六

書記 川原れい子 天王寺区大道四丁目

会計 小山義治 六津守町東四丁目九二

園 医 蔭山達郎 兵庫県武庫郡住吉村字浜新田

園 医 片岡保藏 鶴見橋通八丁目二

財団法人 鶴見橋幼稚園

鶴見橋通八丁目八 新町五〇四五

理事長 藤川岩秋 鶴見橋通八丁目一

園 長 藤川イツ子 鶴見橋通八丁目一

主任教諭 藤川喜美子 鶴見橋通八丁目八

PTA会長 山本武辰 津守町東四丁目三九

副会長 中野ヨシエ 旭南通八丁目一四

会計 野村広定 鶴見橋通七丁目五

財団法人 聖心幼稚園

天下茶屋三丁目六七

園 長 進藤八重 天下茶屋三丁目六七

教務主任 榎本巴 梅通五丁目

PTA会長 藤内定次郎 桜通二丁目一

副会長 村上光子 玉出新町通二丁目八

会計 高田豊種 松原通一丁目三五

施設

財団法人 邦壽会今宮診療院

海道町一一

代表者 鳥井信治郎 北区堂島浜通一丁目二〇 福島八二六五 株式会社壽屋

財団法人 済生会大阪府今宮診療所

東田町七三

所 長 池田磯雄 東住吉区平野西ノ町一九八

財団法人 済生会大阪府津守診療所

津守町東三丁目八五 新町三八三〇

所 長 吉田良顯 天下茶屋二丁目三九 天下四九〇六

財団法人 津守病院

津守町西五丁目六一 天下三二七三

理事長 宮地 喜代一 津守町西五丁目一〇八 天下四五九六
院 長 佐々木 猛 次 中河内郡松原町大字上田八

市立 千本 保育 所

千本通六丁目三一

主任 保姆 佐 武 静 枝 住吉区杉本町二六三

〃 今宮市民館保育部

東田町七三

主任 五老海 治子 南河内郡登美丘町西野

財團 みのり 園

長橋通一丁目一南 二五〇

園 長 中根 曉 月 長橋通一丁目一

宗教 聖化 保育 園

千本通六丁目一

園 長 畑 野 基 千本通六丁目一

宗教 惠光 保育 園

南吉田町六一

園 長 影山 弘子 南吉田町六一

財團 四 恩 學 園

東入船町二三

理事長 長 林 文 雄 東入船町二三

財團 大阪 自 彊 館

西今船町五 天下三七〇〇

館 長 吉村 敏 男 大和高田市勝目二七

保護主任 福岡 実 郎 西今船町五

財團 大阪 自 彊 館 勞 働 紹 介 所

西今船町五 大阪自彊館内

所 長 吉村 敏 男

求人求職係 福岡 実 郎

財團 大阪 自 彊 館 和 衷 寮

西今船町五 大阪自彊館内

寮 長 吉村 敏 男

保護主任 福岡 実 郎

救 世 軍 朝 光 寮

松田町一丁目四二 天下四四〇五

寮 長 平 本 泰 助 松田町一丁目四二

大阪府 委 託 千本内職 斡 旋 所

千本通六丁目二一 天下二二八〇

所 長 黒 川 浅 儀 千本通七丁目一七

斡旋主任 梅 田 修 蔵 千本通六丁目二一

財團 大阪 福 祉 事 業 財 團 天 下 茶 屋 寮

天下茶屋三丁目九七 天下(呼)四七五三

寮 長 田 淵 種 誠 天下茶屋三丁目九七

市 設 今 宮 住 宅

所 長 佐 伯 繁 東入船町

市 設 山 王 住 宅

所 長 上 田 弘 之 山王町二丁目六〇

市 設 玉 出 住 宅

所 長 小 田 原 正 美 千本通六丁目 天下二五六二

市 設 岸 之 里 住 宅

所 長 中 筋 秀 哲 松原通二丁目

市 設 津 守 住 宅

所 長 田 仲 義 一 津守町西七丁目四三

市 設 津 守 第 二 住 宅

所 長 田 中 六 郎 津守町東三丁目一〇八

府 營 津 守 住 宅

管 理 者 佐 藤 隆 久 津守町東七丁目

学用品、事務用品
資生堂チエインストア
有名化粧品

中川昌平堂

大阪市西成区西皿池町一四番
電話 天下茶屋 66 番

大阪土地家屋調査士会副会長
大阪府行政書士会副会長

土地家屋調査士
行政書士

井上常三郎

大阪市西成区
田端通二丁目二

衣料品

ことぶきや

西成千本通
電話(66)三四九三

純良優秀医薬品

サワダ薬局

西成区役所前

西成区政誌

昭和二十六年四月一日 印刷発行 **【非売品】**

編輯兼 発行者
大阪市西成区千本通三丁目十五番地
大阪市西成区役所
(責任者 六藤薫太郎)

印刷所
大阪市西成区津守町東二丁目五十二番地
大阪書籍株式会社

発行所
大阪市西成区千本通三丁目十五番地
西成区民クラブ